



広報

あいきく

平成 27 年 3 月

第 34 号

この街で健康に暮らす

小川久子支部長



地域に根差した健康づくりを目的としたヘルスボランティアとして、自分の健康、家族の健康、地域の人々の健康のために活動しています。テレビや雑誌など、健康という言葉が出ないときがない時代の中で活動の大切さを実感していますので班員自身が食生活に気をつかい、体力づくりに励み、常に健康づくりを心掛け生活しています。定期的な声かけ、子育て支援をしています母子愛

育班は、現在の天皇陛下のご誕生を機に、昭和天皇より賜った御下賜金75万円（現在では11～13億円）をもとに、当時ほとんど顧みられない状態にあった母子の健康と福祉向上を図るため、「恩賜財団母子愛育会」として設立された全国の組織です。今では乳幼児の死亡率はゼロに近づいています。

次代を担う子と母が健康であるためにと始まった活動ですが、乳幼児を取り巻く環境が変化してきた今、愛育班の役割は重要だと思っています。

これからも母子のみではなく、地域に住むすべての人々の健康と幸せを願い、保健センターとともに活動に邁進していきます。

連合総会 5.29(木)

アスタホールにて不動岡地区愛育班長の秋山しづ江さんが日頃の活動についての発表をしました。

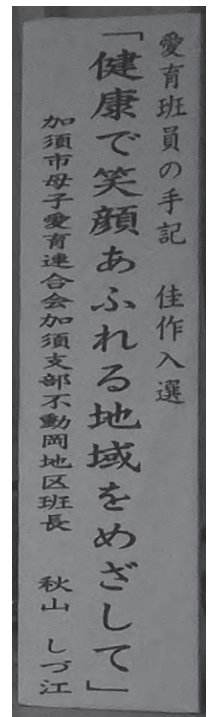


大利根支部研修 H27.2.12(木)

白岡市のはびすしらおかにて白岡市愛育会の歴史や、今流行っている事業などを紹介していただきました。時代の流れの中、プライバシーや個人情報の問題で家庭訪問が難しくなっている昨今、独自の書類を発行し、もしもの時に対応できる様にボランティア保険もかけいろいろな事業が行われているが、高齢者の訪問は行っていないので、少子高齢化が進んでいくのに伴い今後の活動のあり方を考えなくてはとおっしゃっていました。私たちの活動にとっても役立つ知識やヒントが沢山あってとっても実りのある1日でした。



愛育会を支える保健師さんたち



手作りの豚汁をいただきました。



地区ごとの活動のご紹介

《三世代交流》

豊野地区

今回で20回目、豊野小学校での開催になって6年目になりました。

小学1-2年生の発表・絵本セラピー、そして輪投げ大会は皆さん真剣です。お年寄りの方々も背筋がピンと伸びて小学生にも負けません。お昼は5-6年生と一緒に給食を食べました。豊野ぴっぴの親子も小学生の保護者も参加し、四世代総勢176名の大会は楽しく終わりました。



東地区

平成26年12月5日、アスタホールにて「三世代交流会ふれあいの集い」を行いました。東小学校の2年生、藤幼稚園児、社交ダンスクラブと盛り沢山の発表をして頂きました。最初に全員で「野菊」最後に「アンパンマン



マーチ」小学生の体で表現した掛け算九九では会場より「ウアッ」という歓声。掛け声をかけながら叩く園児の和太鼓幕が下りるまで姿勢をくずさず、とても感動しました。見る機会の少ないダンスの華麗なる舞い、どれをとっても素晴らしかったです。その後は、世代を超えた140名が、手作りのサンドイッチ・とん汁・おにぎりを食べ、おしゃべりしながら楽しく和気あいあいと過ごせた一日でした。



健康まつり

第4回 加須市童謡のふる里おとね市民まつり
11.23 (日・祝) 大利根運動公園 自由広場



試食は「米粉のパイナップルケーキ」
…食生活改善推進員協議会…

はいはい・よちよち・とっこ
運動会



脳トレ

地区ごとの活動のご紹介

《子育て支援》

♪母子愛育会と遊ぼう♪

元和地区

「元和キッズ広場」という名で年4回ほど開催しています。

風船でタコさんを作ったりして「今日は、いっぱい来てくれるといいね」といいながら、子どもたち、ママたちの到着を待ちます。

あっだれか来ました。わくわくします。1組目の親子さんです。2組目、3組目と続いてやって来ました。



名札をつけて、さあ、始めましょう。おもちゃで遊ぶ子、風船で遊ぶ子、それぞれですが、結構仲良く遊んでいます。

みんなで折り紙をして、いろんな魚ができました。そして、その魚を使って、魚釣りをしました。「たくさん釣れるといいね」子どもたちは釣った魚を持ってとても嬉しそうです。

毎回「何をしようかな」と考えながら、子どもたちの笑顔に会いたくて、ママたちのほっとした顔が見たくて、キッズ広場を開いています。

原道地区

準備して待っていても参加者ゼロが続きました。赤ちゃんが生ま

れていないこと、保育園・幼稚園に入ったこと、ママ友つながりでいろいろな子育て支援を利用していること等が理由でした。原道が力を入れてきた子育て支援の輪が大きく広がっていることは、喜ばしいことです。

とは言っても、どうしたものか…。ここはやはり原点復帰。地域のつながりを大切にしたい！そこで、声かけ・訪問！のクリスマスカードをお届けしながらお誘いしたら参加してもらえました。1月も手作りカードでお誘いしました。やはり顔を合わせての案内は、安心して参加してもら

えるようです。起死回生。これからも地域の中で"ほっ"とできる子育ての場であり続けたいと思っています。



健康まつり

きみも私もずっとなかまだよ



手作りのブロック 高く積めるかな？



ワニが出てきたぞー バン！バン！



手づくりの輪投げ！なかなかむずかしい



シャボン玉 飛んだ〜♪



スタンプラリー 景品はお菓子のつかみ取り



バナナ取り 楽しくても1本よ！



折り紙の魚、沢山釣れたね！

連合研修

H27.1.23(金)
アスタホール

母子愛育会推進本部長の大場エミ先生を講師にお迎えし、「愛育活動をする上で個人情報保護法をどのように捉えるか」と題した研修会が開催されました。

愛育会が得た個人情報について、事前にこうするとよいとか、こういうところに気を配って活動する必要があるとか、具体的な例をあげてお話していただき、とても参考になりました。

また、地域においては、何より人と人とのつながりが大切であり、子どもたちが健やかに育つため、だれもが住みよいと思える地域を作るため、愛育会の活動が如何に必要とされているか、ご自身の体験などを交え、やさしく話され心に響きました。

今日の研修を役立て、これからよりよい活動に取り組んでいきたいと思いました。



騎馬戦型社会
2012年

65歳以上1人に対して20~64歳
2.4人

埼玉県母子愛育のつどい

H27.2.4(水) さいたま市民会館 うらわ

新潟文化短期大学 塩見和恵氏の講演テーマは「地域の中での子育て支援～共に育ち・育てる～」愛育会の活動の大切さを痛感しました。

加須市母子愛育連合会は母子愛育会埼玉県支部長感謝状を受彰し、吉羽咲貢さんが母子愛育事業功労者知事感謝状を受彰しました。



おめでとうございます。



支部子育て支援

『とねっこひろば』H26.7.2(水) 福祉会館

毎年、多くの方に参加していただいている「七夕会」今年もお紙を折ったり短冊に願い事を書いたり、賑やかな楽しい時間を過ごしました。みなさん素敵な七夕飾りが出来上がりました。



支部研修

H27.2.18(水)

柿沼とみこ氏を迎えて… さわやかほ一む

「小さい子と高齢者は目線と時間軸が一緒なので子どもがやっていることを待ってられる。それが子どもたちの奥行きを広くする。血の繋がりがなくてもいいので愛育会の役割は大きいのではないかと期待している」とのことでした。



訃報

大利根支部の名誉会長としてご尽力くださった篠塚妙子さんが他界されました。心よりご冥福をお祈りいたします。



大利根愛育会ホームページ
<http://aiiku-ootone.jimdo.com>



加須市母子愛育連合会
大利根支部

編集委員

責任者 小川久子	委員長 森恵美子
元和地区：稲村直子	佐々木幸子
東地区：高橋和歌子	大橋容子
原道地区：羽鳥祐子	青山佳代子
豊野地区：青木澄子	保健センター